

## 悠遊クラブ関西支部行事報告

1. 行事：平成18年「岸和田だんじり祭」見物
2. 日時：9月16日(土) 11時～ (天候：曇後晴)
3. 場所
  - 1) だんじり曳行見物：らんかん橋(紀州街道)、船津橋周辺
  - 2) 岸和田だんじり会館
  - 3) 岸和田城
  - 4) 梅田、居酒屋「はちきん」・・・懇親会
4. 参加者：祭り見物8名、懇親会9名  
本部より：稲垣和平、中田宏  
関西支部：市間敏太郎、佐藤正昭、三ツ井強、中野能孝、橋本肇、更井敬治  
特別参加：山路邦彦(藤田金属株)

この度、関西支部立上げ後初めて行楽の屋外行事を実施しました。台風13号が九州地方接近中で天気予報は雨模様、覚悟を決めて当日を迎えました。早朝こそ小雨も降りましたが、集合時間の頃荷は青空ものぞき始め、申し分のない祭り日和となりました。午前中のだんじり曳行が終わった11時から再開される13時まで、メインストリートは歩行者天国になっていました。私達は道端へ車座になって、途中仕入れたおかずメニュー控えめの、おにぎり弁当と缶ビールで腹ごしらえをすると、次第に見物モードへ気持ちが高ぶっていくのでした。

恥ずかしいのでここだけの話ですが、今回参加の関西支部の皆さんは、今までにこの祭りをTVニュースでしか見たことがありません。TVでは、だんじりの華である街角を勢い良く回る「やりまわし」と、大屋根の上で大工方の飛び跳ねる光景がよく映し出されます。ナマで見るのは今回が初めてでした。

だんじり祭は、江戸時代中期・元禄16年(1703)に始まったと言われ、約300年の伝統があるそうです。この地で生まれ育った親から子へ、子から孫へ連綿と受継がれてきたそうです。今回、ナマで見ることによってそれを証拠付ける光景を目の当りにしました。前方には引き手の若い衆が大勢いて、だんじりを重要な役割の人達が固め、そして後方には小さな子供達まで連なり、我が町の伝統を誇らしげに守っている姿があったのです。



左の写真、大きな絵をバックに  
(岸和田だんじり会館、にて)

下の写真、懇親会でご挨拶する  
佐藤支部長(はちきん、にて)





# 岸和田だんじり祭



歩行者天国を歩く参加者



見物ポイント通過するだんじり



威勢のよい引き手



狭い路地から出てきたところ



左上・上、だんじり会館内部  
右上、本物の岸和田城

左・左下、満足の乾杯（中田カメラ）

右・下、懇親会場のはちきんで  
大いに盛上げる

